

第3学年 国語科学習指導案

2組 男子15名 女子9名 計24名
指導者 佐々木 貞明

1 単元名 「食べ物ブック」を作ろう

2 教材名

中核教材 「すがたをかえる大豆」「食べ物はかせになろう」(光村図書 3年下)
補助教材 「身近な食べもののひみつ 1 すがたをかえる米・麦」(学習研究社) 他

3 研究との関わり

本単元を通して育てたい力

<追究力>

○ 接続語に気を付け、段落と段落の関係を考えながら、目的に応じて内容が書かれていることを読み取る力を育てる。

○ 食べ物ブックを作るために、必要な情報を取り出し、「初め・中・終わり」の文章構成で説明的文章にまとめる力を育てる。

<感想力>

○ 友だちが取り出した情報について、理由を付けて考えを述べる力を育てる。

<説明力>

○ 自分が取り出した情報を紹介する力を育てる。

4 言語活動

自分が選んだ「食べ物」についての必要な情報を取り出し、「はじめ・中・終わり」の文章構成で説明的文章にまとめること。

5 単元の指導目標

○ 「食べ物」について知らせるために、説明的文章に関心をもち、書き方を学んで書こうとする。

(関心・意欲・態度)

◎ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと。(読むことイ)

○ 目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら文章を読むこと。

(読むことオ)

○ 書く必要のある事柄を収集したり選択したりすること。

(書くことイ)

◎ 書こうとする事の中心を明確にしなが、段落と段落との続き方に注意して書くこと。(書くことエ)

○ 文章全体における段落の役割を理解すること。(言語事項オ(イ))

6 単元の評価規準

	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての知識・理解・技能
おおむね達成できる状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が紹介する「食べ物」についての情報を資料から探し出そうとしている。 ○ 段落構成に気を付けて説明的文章を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 接続語や段落の役割に気を付けて内容を正しく読んでいる。 ○ 資料から、工夫やちえが書かれている内容を選び出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「初め・中・終わり」の段落構成で、接続語を適切に使い、400～600字程度の説明的文章を書いている。 ○ 資料から取り出した内容を、自分の考えを表わすために選んでまとめて書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章全体における段落の役割を理解している。 ○ 接続語を適切に使い、段落構成を考えて文章を書いている。

7 指導に当たって

(1) 児童について

児童はこれまでに、「生き物のふしぎをつたえよう」という単元で、生き物についてのふしぎを読み取り、発表原稿にまとめ、それをもとにグループで伝え合う言語活動を取り入れた学習を行った。その結果、説明的文章に関心を持ち、指示後や接続語に気を付けて文章を読む力が付いてきている。また、この学習を通して、目的意識をもって本を選び、その中から、目的に合った必要な情報を取り出す力が身に付いてきている。しかし、文章を正しく読むことや、取り出した情報を段落構成に気を付けて効果的にまとめる力は十分ではない。

このことから、食べ物ブックを作る活動を通して、文章を正しく読み、必要な情報を取り出し、それを段落構成に気を付けて効果的にまとめる力を付けていきたいと考える。

(2) 単元について

第3学年及び第4学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。また、「書くこと」の目標は、「相手や目的に応じ、調べたことが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書くことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てる。」である。これらを受けて、本単元では、「読むこと」の内容イ「目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら文章を読むこと。」と、「書くこと」の内容エ「書こうとする事の中心を明確にししながら、段落と段落との続き方に注意して書くこと。」を主目標とする複合単元として設定する。

「目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら文章を読むこと。」とは、第5学年及び第6学年の「読むこと」の内容イ「目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。」につながるものである。また、「書こうとする事の中心を明確にししながら、段落と段落との続き方に注意して書くこと。」とは、第5学年及び第6学年の「書くこと」の内容エ「事象と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。」につながるものである。

「読むこと」の中核教材「すがたをかえる大豆」は、大豆やその加工食品について書かれた説明的文章である。身近な食べ物である大豆という食料の、長所を取り入れ、欠点を克服するために昔の人々が知恵を働かせた成果として、さまざまな食べ方が生み出されていることに対する驚きや感動をもちながら、読み進めることができる内容である。

「すがたをかえる大豆」の文章構成は、「話題提示・事例・筆者の考え」が書かれた「初め・中・終わり」となっており、中の段落では、大豆のさまざまな食べ方が人の手の加え方と共に解説されている、解説型の説明的文章である。事例は「いちばん分かりやすいのは」、「次に」、「また」などの接続語でつながれており、5つの事例が並列で述べられている。この表現上の特徴から、事例を挙げて分かりやすく説明をする力を身に付けさせるための学習に適した教材である。

これを受けて、「書くこと」の段階では事例を挙げて説明的文章を書く活動を展開する。これは、他の文献から得た情報を引用・抜粋したり、まとめた事例やエピソード・数値などを挙げたりしながら、詳しく説明することである。段落の役割を意識し、それぞれに必要な情報を集め、接続語を適切に使って書いていく。

このような教材で、自分が選んだ「食べ物」についての必要な情報を取り出し、「はじめ・中・終わり」の文章構成で説明的文章にまとめる言語活動を取り入れれば、児童は、文章を正しく読み、必要な情報を取り出し、それを段落構成に気を付けて効果的にまとめる力を高めていけるであろう。

(3) 指導について

本単元では、自分が選んだ「食べ物」についての必要な情報を取り出し、「はじめ・中・終わり」の文章構成で説明的文章にまとめることを言語活動として位置付けている。この単元で付けたい3つの力は次の通りである。

①「見通す段階」

〈追究力〉 目的意識をもち、目的を達成するための活動の見通しをもつことができるようにする。

見通す段階では、毎日の食事で食べている加工食品のことについて調べ、全校に知らせようという目的意識をもつ。そのために分かりやすい説明的文章を書き、本にまとめるという活動の流れをつかむ。また、食べ物のことを説明している本のブックウォークに課外で取り組む。

二人組で話し合いを取り入れた学習に取り組むことでお互いの考えを広げたり書く内容を確かめたりして、一つの説明的文章にまとめて他の児童や家の人たちに紹介するという目的意識をもたせる。また、自分たち

の学習の成果に対する他のグループや他の学年の人たちの感想を聞くことが、さらに自分の考えを確かにし
たり広げたりすることになることを意識できるようにする。

②「深める段階」

〈追究力〉 説明的文章を読み取り、説明的文章にまとめる一つの方法を理解できるようにする。

深める段階では、「すがたをかえる大豆」を読み、固く消化もよくない大豆をおいしく食べるために、煎る・煮るなど、手を加えることで、ちがう食品にする工夫を読み取る。そこから、昔の人々の「ちえ」とは、食料としての大豆の「よいところ」を生かし、欠点を克服する「くふう」であることをとらえる。

また、「初め・中・終わり」の段落に書かれている内容や、接続語の使い方を理解し、「食べ物」を説明するための一つの方法を学ぶ。

③「まとめる段階」

〈追究力〉 自分の選んだ食べ物についての説明文を書くために必要な情報を取り出し、「初め・中・終わり」の文章構成で説明的文章にまとめることができるようにする。
 〈感想力〉 友だちの選んだ食べ物に関する情報を評価できるようにする。

まとめる段階では、調べたいことがらごとに二人組を作り、「すがたをかえる大豆」で学んだことを生かし科学読み物や図鑑などから、食べ物の「よさ」、どんな「くふう」をするのか、工夫することでどんな「欠点」が克服できるのかということをもとに文章に書き表していく。次に、各段落について書き方を学びながら、取材メモをもとに文章に書き表していく。モデルに沿って書き進めることにより、書くことに対する苦手意識や負担感を少なくし、説明したい内容について楽しんで書くことができるようにしていく。ここでは、取り出した情報を二人組で評価し合い、説明文に書く情報を決める活動を取り入れる。

④「広げる段階」

〈説明力〉 自分の選んだ食べ物について調べたことを紹介できるようにする。

自分の選んだ食べ物について紹介するとともに、1冊の本にまとめて図書館に置き、全校の児童に読んでもらう。さらに、他のグループと感想の交流をして、今後の言語生活の意欲づけをしたい。

8 単元の学習計画及び評価計画（16時間）

段階	時間	学習活動・学習内容	指導上の留意点	具体的評価基準 (評価方法)
見 通 す	1	身近な食べ物について考え、すがたをかえる食べ物について本にして知らせる計画を立てよう。		関一意欲をもっている。(発言・態度・ワークシート)
		1 自分たちの普段の食事を思い出し、どのような食品が使われ、どのようにすがたをかえているか考える。 2 自分たちが調べたことを文章にし、全校児童や家の人に読んでもらおうという意欲をもつ。 ○ 単元の活動の流れをつかみ、見通しをもつこと。	○ 普段の食事に取り入れている主な食品を8つ程度に整理し、さまざまな食品にすがたをかえていることに気付くようにする。 ○ 前年度の3年生が作った「食べ物ブック」を紹介し、活動の見通しをもたせる。 ○ 二人で話し合ったり、他の児童や家の人たちからの感想を聞くことで、自分の考えを広げたり高めたりしようとする意欲をもつようにする。	

深める	2	<p>「すがたをかえる大豆」を読み、大豆クイズを作ろう。</p> <p>1 教師の作った大豆クイズに答える。</p> <p>2 「すがたをかえる大豆」から大豆についてのクイズを作り、クイズを出し合う。</p> <p>○ 大豆クイズをし、「すがたをかえる大豆」に書かれている情報を取り出すこと。</p>	<p>○ 食品→手の加え方、くふうの関係からクイズが作れることをつかませ、クイズを作れるようにする。</p> <p>○ 問いの文は、「～でしょうか。」の文末になることを既習から想起できるようにする。</p>	<p>読 一段落ごとに、中心文やキーワードから、くふうと食品を読み取ることができる。(ワークシート)</p> <p>読 目的に応じて、内容を大きくまとめたり、細部を詳しくしたりすることのよさを理解している。(ワークシート)</p>
	3	<p>大豆クイズを表にまとめ、段落の関係をつかもう。</p> <p>1 手の加え方と食品、くふうを表にする。</p> <p>○ 「初め・中・終わり」の文章構成をつかむこと。</p>	<p>○ クイズの内容がどの段落に書かれているのかを確認させることができるようにする。</p> <p>○ 接続語を意識させ、段落のつながりを考えることができるようにする。</p>	
	4	<p>大豆が多く食べられてきたわけを読み取ろう。</p> <p>1 大豆が多く食べられてきたわけが書かれてある段落を確認し、「初め」と「終わり」の関係をつかむ。</p> <p>○ 「終わり」の段落に筆者の考えが書かれていることを読み取ること。</p>	<p>○ 「初め・中・終わり」の文章構成から、筆者の言いたいことがどこに書かれているかを考えさせ、課題解決できるようにする。</p>	
まとめる	5	<p>もりもりタイム 司書教諭活動</p> <p>調べる食べ物を決め、調べ方を知ろう。</p> <p>1 調べる食べ物を選び、グループを作る。</p> <p>2 「食べ物はかせになろう」を読み、本の探し方や調べ方、目次や索引の使い方を知る。</p> <p>○ 目的に応じた本の選び方、活用の仕方を知ること。</p>	<p>○ 目的に応じて、内容から必要な情報を選ぶ事を理解できるようにする。</p>	<p>書 必要な情報をさがし、ワークシートにまとめている。(ワークシート)</p> <p>書 必要な情報を選び、分かり易くまとめようとしている。(観察・ワークシート)</p> <p>関 友達の見解を取り入れながら、意欲的に作業している。(観察・ワークシート)</p>

<p>6</p> <p>7</p> <p>8 (本 時)</p> <p>9</p>	<p>取材して必要な情報を選ぼう。</p> <p>1 取材カードの書き方を学ぶ。</p> <p>2 必要と思う情報に付箋紙を貼る。 ○ 必要と思う情報を収集すること。</p> <p>3 付箋紙に取材カードに書くことをメモし、二人組で話し合い、取材カードに書く情報を決める。</p> <p>4 必要と思う情報を、取材カードに書く。 ○ 説明的文章に書くための内容を取材カードにまとめること。</p>	<p>○ 食べ物の「よいところ」(栄養, 栽培他)「欠点」(食べやすさ, 味, 保存他)「手の加え方」(煮る, 焼く, 粉にする他)等の, 情報を収集するときの観点を確認させ, 必要な情報を収集できるようにする。</p> <p>○ 観点に沿った情報を決めるときに, 二人組で話し合うようにする。</p>	<p>書—必要な情報をさがし, ワークシートにまとめている。(ワークシート)</p> <p>書—必要な情報を選び, 分かり易くまとめている。(観察・ワークシート)</p> <p>関—友達の見取り入れながら, 意欲的に作業している。(観察・ワークシート)</p>
<p>10</p>	<p>「初め」の段落を書こう。</p> <p>1 取材カードを説明的な文章にするときの書き方を確認する。</p> <p>2 初めの段落に書くことは何かを確かめ, 食べ物を紹介する文を, 二人組で話し合い100字程度に書く。 ○ 自分の選んだ食べ物の特徴や欠点を, 100字程度でまとめること。</p>	<p>○ 身近な食べ物としての情報(食べ物と自分たちの暮らしのかかわり, 栽培・収穫の仕方など)と, 読者に訴えるために問いかけの文を入れることを押さえる。</p> <p>○ 書き方の例を提示し参考にできるようにする。</p>	
<p>11</p> <p>12</p>	<p>「中」の段落を書こう。</p> <p>1 事例に取り上げる内容と, 順番を決める。</p> <p>2 二人組で書く事例を分担し, 一つの事例につき150字程度で書く。 ○ 手の加え方やそのことによる変化を, 一つの事例につき150字程度でまとめること。</p>	<p>○ どの並べ方にするか考えることができるように, 順番の決め方として簡単～難しい, などの例を示す。</p>	

	13	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「終わり」の段落を書こう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 1 まとめの段落に書くことは何か確かめる。 2 終わりの段落を、二人組で話し合い、100字程度で書く。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の選んだ食べ物のよさや自分の感想を、100字程度でまとめること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「このように」で書き始めること、事例から分かること（工夫することでどんなよいことがあるか）をまとめ、そのちえにたいする感想を書けるようにする。 	
	14 15	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">一つの文章にまとめよう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 1 「初め・中・終わり」の3部構成の説明的文章を書く。 2 二人組で推敲を行い清書する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の選んだ食べ物について、「初め、中、終わり」の文章構成でまとめること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 構成カードを見ながら、完成できるようにする。 ○ 確かめカードを参考に推敲できるようにする。 ○ 誤字脱字に気を付けさせて清書できるようにする。 	
広げる	16	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">調べてまとめたことを発表し、感想を交流し合おう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 1 説明文を発表する。 2 発表を聞き感想を話す。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の調べたことを伝え、他のグループの発表を聞き、理由を付けて感想を話すこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他のグループの説明的文章を読み、感想を交流させる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">関</div> <p>感想を交流し合い、自分の活動を振り返っている。</p>

9 本時の学習 (8/16)

(1) **目標** 二人組で話し合い、説明的文章の「初め、中、終わり」の各段落に書く内容を決めることができる。

(2) **展開**

段階	学習活動・学習内容	形態	指導上の留意点	評価 (評価方法)
導入	1 本時の学習流れとめあてを確認する。 食べ物ブックに書く内容を決めよう。	全	○ 国語リーダーが進行して、今日の学習の流れを確認することができるようにする。	関一学習リーダーの話を聞き、本時の学習の流れとめあてを確認しようとしている。(観察)
展開	2 食べ物ブックに書く内容を決める。 (1) 前時に貼っておいた付箋紙に、食べ物ブックに書く内容をメモする。 ○ 「初め、中、終わり」の各段落に書くための情報を取り出すこと。 (2) 二人組で話し合い、お互いの考えを確認し、各段落の小見出しに合った内容で、読んだ人が興味をもつものになっているかを判断すること。 <div data-bbox="231 987 595 1384" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> (決める時に確かめること) ①小見出し ・「初め」－「○○の説明」「○○のよくないところ」 ・「中」－「～する工夫」「～すると・・・になる」 ・「終わり」－「○○の良さ」「感想」 ②食べ物ブックを読んだ人が興味をもつものか。 </div> ○ 自分の考えを、理由も付けて話したり、友だちの考えを、「決める時に確かめること」に着目して聞いたりすること。 ○ 話し合ったことを生かし、食べ物ブックに書く内容が、「決める時に確かめること」に適しているかどうかを考えて判断すること。 (3) 整理してまとめる。 ○ 二人組で話し合った結果を「初め、中、終わり」の文章構成でまとめること。	個 ペ ア	○ 食べ物ブックに書く内容を決める時に確かめることを、確認する。 <div data-bbox="719 566 1094 864" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ・「初め」の段落には、材料の特徴・紹介やよくないところを書く。 ・「中」の段落には、手を加える工夫、手を加えた後どのような食品になるのかを書く。 ・「終わり」の段落には、材料のよさや感想を書く。 ・食べ物ブックを読んだ人が興味をもつものか。 </div> ○ 付箋紙の書き方と書く内容を確認する。 <div data-bbox="703 965 1094 1328" style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 「終わり」の段落 材料のよさ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 「中」の段落 (手の加え方) すると... </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 「初め」の段落 材料の説明・よくない点。 </div> </div> ○ 話す側は、自分の考えを、理由もつけて話すことができるようにする。 ○ 聞く側は、友だちの考えを、「決める時に確かめること」と関連させて聞けるようにする。 ○ 話し合ったことと、「決める時に確かめること」を関連させて書く内容を決めるように助言する。 ○ 一つの情報を取り上げ、その情報が「決める時に確かめること」に沿ったものになっているかを教師と一緒に確認する。同じように活動することを促す。	関一自分の選んだ、「初め、中、終わり」の各段落に書くための情報について、理由つけて話そうとしている。 友だちの取材カードに対する自分の考えを話そうとしている。(観察) 関一友だちの意見を「決める時に確かめること」と関連させて聞こうとしている。(観察) 書一二人組で話し合い、「初め、中、終わり」の各段落に書く内容を決めている。(ワークシート)
37 終末 5	4 本時の学習を振り返る。 ○ 本時学習でできたことをシートに書くこと。	個	○ 課題に沿って振り返りをさせ、次時の課題をもたせる。	